

【浜松読書文化協力会長賞】

「そのとき」がきた

浜松市立篠原小学校 一年 山下 晏寿

わたしもなすがきらいだから、ほんをよんだらなすがすきになるかもしれないとおもったよ。きらいなりゆうは、たくまくんといっしょで、むにゅむにゅしてきもちわるいし、さいごににがいからおいしくないよ。ほんをよんで、はんぶんのはんぶんにしたなすのつけものをたべてみたよ。さいしょは、いやだったけど、たべたらちょっとおいしかったよ。おかあさんとおとうさんに、なすがすきかきいたら、おかあさんはすきだけど、おとうさんはきらいだっておしえてくれたよ。スポンジをたべているみたいでいやなんだって。わたしといっしょだ。でも、つけものがたべられたから、おかあさんが、ほんにかいてあるなすのにくまきをいっしょにつくろうかっていったから、スーパーになすをかいにいった

よ。おうちにかえって、なすをきって、おみずにつけて、おにくをまいたよ。くるくるまくのがおもしろくて、おとうさんとおにいちゃんのぶんもまいたよ。おかあさんが、フライパンでやくと、すごくおいしいにおいがしてきたよ。おさとうとおしょうゆをいれたら、もっとおいしうなにおいになって、はやくたべたくなっちゃった。おかあさんが、できたてのなすのにくまきをくれたから、たべようとしたらあつくて、フーしてたべたよ。おくちのなかにいれたら、あまくてしょっぱいあじで、かむとなすのおしるがジュワーとでてきて、なすのにがいあじもなくなつて、すごくおいしかったよ。このほんのおかげでわたしに「そのとき」がきちゃった。よるに、おとうさんがかえってきて、なすのにくまきをたべたらちよつといやそうなかおをしたよ。

「わたしがつくったんだよ。」

っていったら、

「すずいね。おじいよ。」

っていつてくれたけど、きつとあんまりおいしくないんだとおもったよ。

おとうさんに、「そのとき」がくるように、これからはすのりようりをた  
くさんつくってあげるね。

書名 そのときがくるくる

著者名 すず きみえ

発行所 文研出版